

夏休み子ども環境塾で若手海上保安官が講演

平成29年8月20日、姫路市林田町大堤の姫路市伊勢自然の里・環境学習センターで開催された、姫路市環境政策室が主催する「夏休み子ども環境塾」において、当部若手海上保安官が小中学生や保護者計62名を対象に、「未来に残そう青い海」をスローガンとした海洋環境保全や、海水浴で遭遇することがある「離岸流」の対処法についてあつく語りました。

海洋環境保全では、生活排水が赤潮を発生させる原因の一つであることや、河川を經由して海に流出した生活ゴミが海洋生物に悪影響を及ぼす事例を写真等で分かり易く説明し、この状況は、翌日の新聞にも掲載されました。

「離岸流」とは

離岸流は岸から沖へ向かう潮の流れのことで、秒速1～2メートルの流れになることもあります。この流れに遊泳中の人間が入り込んでしまうと、全力で泳いでも流れに逆らって岸へ戻ることはまず不可能です。

離岸流の幅は10～30メートルほどなので、海岸と平行に泳げば離岸流から抜け出せる可能性があります。

海岸に漂着しているゴミの大半は、陸上から流れ出したものです。
ゴミは各自で持ち帰りましょう！



あつく語る若手海上保安官